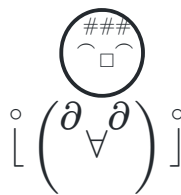


Markdown でレポートを書こう

4年14席 黒江 遺産

2024年 5月 16日

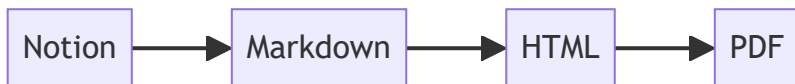
- インストールするもの
- 流れ
- レポート執筆
- Markdown を編集
- HTML に変換
- PDF に変換



インストールするもの

- Visual Studio Code
- VSCoide 拡張機能 [Markdown+Math](#)
- VSCoide 拡張機能 [Markdown All in One](#)

流れ



レポート執筆

私はいつも Notion で書いている。レポートを書き終わったら、Markdown にエクスポートする。

K_AT_EX 数式において、本文中の文字と同程度のサイズのテキストを置きたい場合は `\footnotesize` を用いる。私は `\ntsize{}` (Normal Text Size) というコマンドを定義して簡単に `footnotesize` になるようにしている。

```
\newcommand\ntsize[1]{\footnotesize #1}
f(x) \sim \sum_{n=-\infty}^{\infty} C_n \exp\left(i \frac{n\pi}{l}x\right) \quad (\ntsize{\textsf{複素フーリエ級数}})
```

$$f(x) \sim \sum_{n=-\infty}^{\infty} C_n \exp\left(i \frac{n\pi}{l} x\right) \quad (\text{複素フーリエ級数})$$

Markdown を編集

次の操作を行う。Notion を使用しない場合は一部操作は不要である。

1. 見出しのレベルを下げる

Notion では `h1` から使用するが、これはタイトル用であるため過剰に大きく表示される。そのため、一段階レベルを下げる。

VSCode 上で正規表現を用いて置換を行う。左のコードを「Find」、右のコードを「Replace」に貼りつける。「Find」入力フォーム右の「Use Regular Expression `.*`」を有効にすること。

```
^\n^#
```

```
\n##
```

2. タイトルを専用タグで囲む

タイトルには `h1` タグを使用しても良いが、私は中央揃えに表示させるために次のようにしている。

```
<div id="title">
```

タイトル

```
</div>
```

3. 著者と日付

タイトルの下に置く。

```
<div id="author-date">
```

3年17席   黒江 遺産

2024年 5月 16日

```
</div>
```

4. 画像幅の調整

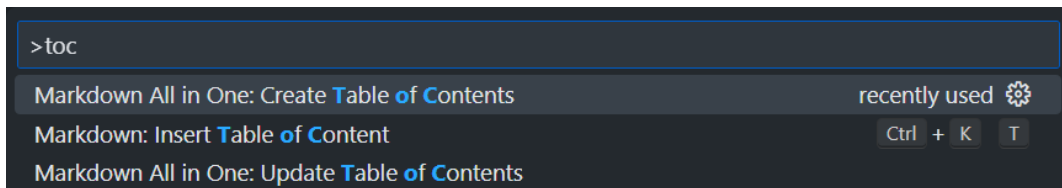
デフォルトでは幅一杯に画像が表示されるため、幅を調整する。

```
!\[.*?\]\(\(.*?\)\)
```

```
<div align="center">
</div>
```

5. 目次の作成

著者と日付の下に目次を作成する。拡張機能「Markdown All in One」の機能を用いる。

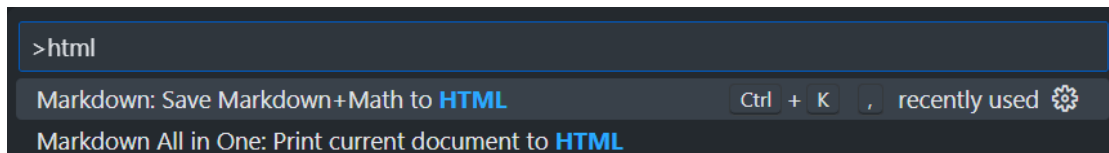


次に Markdown の先頭に次のコードを貼り付ける。

```
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/gh/kuroyei/Markdown-CSS/mdmath/style.css">
<script>
  mermaid.initialize({
    startOnLoad: true,
    theme: 'default'
  });
</script>
```

HTML に変換

拡張機能「Markdown All in One」の機能を用いる。「Save Markdown+Math to HTML」の方を選択する。



PDF に変換

私の Markdown 用の CSS は Chrome で使用することを想定している。

印刷プレビューを見て、望ましくない改ページがある場合は該当する箇所にコードを追加する。

- 途中の改ページを防ぐ

```
<div style="break-inside: avoid">

印刷時に改ページさせたくないコンテンツ

</div>
```

- その場で改ページする

```
<div style="page-break-after: always;"></div>
```